

# ブルーサークル山口第14回糖尿病看護研修会 2日目糖尿病編

## テーマ「エンドオブオブライフケアを学ぼう！語ろう！考えよう！」

今年度は「エンドオブオブライフケア」をテーマとさせていただきました。医療の進歩により、複数の慢性疾患併存状態から人生の最終段階に至る方が増えています。初日はエンドオブオブライフケアでご高名な長江弘子教授（東京女子医科大学老年看護学）をお招きして、講義・ワークショップを開催させていただくことにしました。1日目の基礎編では糖尿病領域に限らず、非会員の方も参加できるようプログラムを構成しています。さまざまな領域のさまざまな医療・介護職のみなさまにご参加いただければ幸いです。2日目の糖尿病編では糖尿病とがんをあわせもつ患者のエンドオブオブライフケアについて学びを深めたいと考えています。初日研修後は交流会も企画しており、参加者の皆様が互いに親睦を深めていただければ幸いです。

目的：

- 1) エンドオブオブライフケアの概念と関連用語を理解し、様々な臨床現場におけるエンドオブオブライフケアの位置づけを考える機会とする。
- 2) 身近な死の経験を通して各自の死生観を意識化・言語化し、望ましい「生き方」について考える機会とする。
- 3) 患者の生活を基盤とした医療やケアの提供をおこなう際、医療・介護従事者が、患者とその身の回りの人たち（家族）、及びケア従事者とどのような関係を構築することが、患者の生命の質、人生の質、生活の質の維持・向上に寄与することなのかを再考する。
- 4) エンドオブオブライフケアに関して、病院・在宅・介護現場でのチーム医療について考える。
- 5) 宿泊研修を通して県内および近隣のさまざまな医療スタッフとの関係を構築する

共催：ブルーサークル山口

日本糖尿病教育・看護学会

ロシュ DC ジャパン株式会社

研修会事務局（問い合わせ先）：

糖尿病ケアサポートオフィス 中山法子

mail：[dm-care@c-able.ne.jp](mailto:dm-care@c-able.ne.jp)

携帯：080-3884-0315（6～8時、17～22時）

<開催概要>

開催日時：2019年3月31日（日）8：15～12：00（受付8：15～8：30）

会場：セミナーパーク 研修室 205

山口市秋穂二島 1062 [TEL:083-987-1410](tel:083-987-1410)

定員：50名（先着順：定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費：ブルーサークル山口会員 2000円、非会員 3000円

<申し込み方法>

ブルーサークル山口のホームページ(<http://bcy.umin.jp>)からお申し込みください。

HP から申し込み手続きができない方は、以下の必要事項を記入の上、メールか FAX で、糖尿病ケアサポートオフィス 中山法子までお申し込みください。

メール：dmcare@c-able.ne.jp

FAX：083-963-4987

必要事項：①氏名②ブルーサークル山口会員の有無③性別④電話番号

⑤緊急連絡用電話番号⑥メールアドレス⑦所属施設名⑧職種

⑨領収証の宛名・但し書きの希望の有無（希望の方は宛名・但し書きの内容もご記入ください。希望のない場合は、宛名は個人名で但し書きは「研修費用」とします）

<参加費の振込>

参加費は3日前までに、参加者のお名前でお振込ください。

振込金融機関 ゆうちょ銀行 口座番号

記号 15530 番号 30525721

受取人 ブルーサークルヤマグチ

【店名】五五八（読み ゴゴハチ）【店番】558

【預金種目】普通預金【口座番号】3052572

<キャンセルについて>

キャンセルの連絡先 中山法子（携帯 080-3884-0315）

悪天候等の都合で開催中止となった場合は、全額返金させていただきます。

振込後にキャンセルされた場合

3/27 まで→返金手続きに伴う手数料のみ

3/28 以降→キャンセル料 30%（後日に 70%返金させていただきます）

取得単位：●日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会

〈第1群〉看護職 2単位 〈第2群〉日本糖尿病療養指導士認定機構 1単位

●やまぐち糖尿病療養指導士 1単位 を申請中

\*遅刻・早退では単位が発行されませんのでご注意ください

ープログラムー

8：15～8：30 受付

8：30～9：30 研修① 講義

「糖尿病とがんと共に生きる人のエンドステージにおける在宅療養支援」

座長：浅江文枝先生（山口大学医学部附属病院 糖尿病看護認定看護師）

講師：松村直子先生（JCHO 徳山中央病院 慢性疾患看護専門看護師）

9：30～9：40 休憩

9：40～11：50 研修② 症例検討（グループワーク）

「糖尿病患者のエンドオブライフケア」

症例提示：澤山恵先生（山口赤十字病院 糖尿病看護認定看護師）

進行：中山法子先生（糖尿病ケアサポートオフィス）

ファシリテーター：梅野尚生（山口労災病院 薬剤師）、仲徹先生（岩国医療センター  
臨床検査技師）、右田るみこ先生（小郡第一総合病院 看護師）、安田直子先生（済生会  
下関総合病院看護師）

事例紹介（10分）グループワーク（90分）発表（20分）

事例提供者・進行による総評（10分）

11：50～12：00 閉会挨拶 ブルーサークル山口会長 中山 法子

研修前に県内での大きな災害や、悪天候等で研修会の開催が懸念される際には、ブルーサークル山口のHPに開催中止のご案内を掲示いたします。当日朝8時以降にご確認ください。（早めに中止を決定した場合には、「最終決定」として前日夜に提示することもありますので随時HPでご確認ください） <http://bcy.umin.jp>